

豊明市議会議長 殿

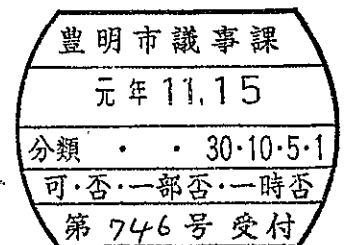
行政等視察報告書

議員名 　いとうひろし

令和元年度豊明市議会政務活動費にて下記のとおり行政等を視察しましたので報告します。

年 月 . 日	視察先	視察項目及び成果等
令和元年 10月 29日 .	兵庫県姫路市 姫路城管理事務所	AR を活用した姫路城の新たな演出について 成果：桶狭間古戦場に生かしたい
10月 30日	高知県高知市 高知ちばさんセンター	全国市議会議長会研究フォーラム 議会活性化のための「船中八策」 パネルディスカッション 成果：議会条例 96 条を調べたい ：「船中八策」を実行したい
10月 30日	新阪急高知 ザクラウンパレス	他市、他県の方との意見交換会 成果：豊明は良い街と再認識
10月 31日	高知ちばさんセンター	全国市議会議長会研究フォーラム 2 日 目 有識者 3 人による課題討議

(注) 別紙添付も可能とします。
(注) 本報告書は5年間公開します。



提出者 とうひろし

1 日目 姫路城管理事務所 10 時から 12 時

AR を活用した姫路城の新たな演出について

内容：姫路城では4年前より、アプリを使ったARやVRを活用する取り組みの「姫路城大発見アプリ」を始めました。

「姫路城大発見アプリ」は、世界遺産姫路城の様々な魅力を発見する事が出来るアプリケーションです。AR（拡張現実）やVR（フルCG）による復原CGによって、現存しない建物が再現され、在りし日の姿を見る事が出来ます。また、城内の仕組みを説明した再現映像も収録しており、当時の様子を携帯で見ることが出来るサービスを行っております。

城内各所にあるQRコードを携帯のカメラで読み込み城を上空よりドローンで撮った画像が見れたり、江戸時代の画像を音声でも説明しています。

当初は15か所に設置し、2000万～3000万円の費用が掛かりました。

1年後には9か所追加で約1000万円かかりました。

西の丸での解説所では全体入城者1割の方が「姫路城大発見アプリ」を利用しております。

改装工事直後の2016年は286万人で翌年より230万人、180万人と少しずつ減り始め、昨年度の城内入場者数は158万人でした。

以前より、外国籍の入場も多いため、24か国語のパンフレットが用意されております。最近では台湾の方が増えてきているそうです。

運営といたしましては、姫路の城、土地は国の物で管理料として入場料を充てております。しかし修繕費35%が姫路市持ち（石垣は50%）となっています。

また、VRも近畿日本ツーリストに委託しています。

ARについては維持費等あまりかからないので委託していない。

我々の市もこのARに取り組んで「桶狭間古戦場」を盛り上げていきたいと感じました。姫路城は映画やドラマにも使われており、若者にも人気があります。豊明市も1シーンでもアニメ、映画、ドラマに登場させていきたいです。

提出者 いたうひろし

2日目 13時～16時50分

全国市議会議長会研究フォーラム1

議会活性化のための「船中八策」パネルディスカッション

内容：現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性

中島岳志氏による、講義について

- ① 政治のマトリクス
- ② ラディカルデモクラシーとポピュリズム
- ③ リベラルの逆襲
- ④ 保守とは何か

★について講義して頂きました、私は保守の議員としてもっと自覚をもって温故知新の気持ちを持ち、60点で良いから良い政治をする取り組みを強く持ちました。

「パネルディスカッション」「自治の主演」にふさわしく・・・坪内ゆづる氏

- ① 地方議会3つの悩み なりて不足・女性議員ゼロ・3ない議会

★について講義を聞き、投票率の低下や無投票の増加、議員層の高齢化をどうやって克服するか。私はまず、議会に関心を持つもらうことや選挙休日、公務員の立候補等大切だと気付かされました。

「パネルディスカッション」議会活性化のための「船中八策」・・・高部正男氏

- ① 市議会における現状認識
- ② 自治体議会をめぐる状況変化
- ③ 議会基本条例
- ④ 今後の自治体議会のあり方

★休日や夜間会議を実地や厚生年金への加入を進め、厳格な定義、細部にわたる規制の弾力化をしたいと思います

2日目

「パネルディスカッション」議会改革のアイデア・・・・・・・・・・横田響子氏

① 中長期視点で街の目指す方向を議論（人口減を前提に未来カルテ作成）

② ガチンコ議員を多様な人材で実地

③ 経験の機会提供（懇談会等接触機会を増やす・テレビ電話・土日の夜間）

★協働&協創（コラボレーション）、公共私ofベストミックス事業に取り組み
新たな人材をも育成したいと思いました。また、議会の透明化にも努めたい。

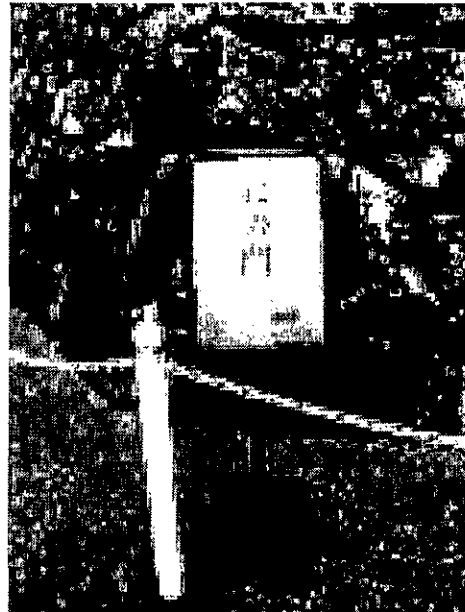
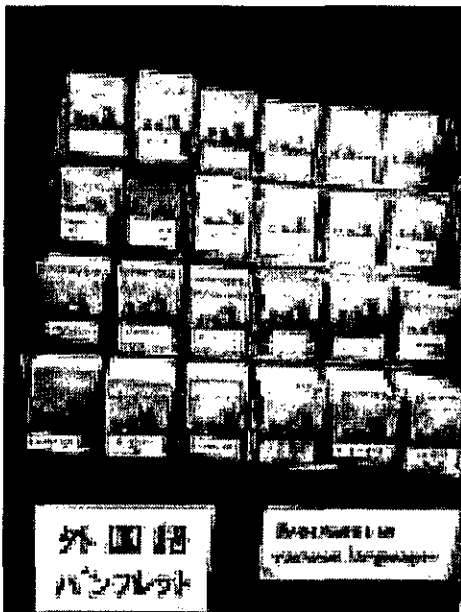
高松丸亀町まちづくり戦略・・・・・・・・・・古川康造氏

土地の所有と利用を分離した市中心部の土地を定期借地し有効活用した成功
例の講義でした。後方支援として病院も取り込み再開発を行なった。

豊明市においてプランを立て取り組んでいけるのではないかと、特に前後駅周
辺を再開発できると思いました。まずは財政を豊かにしなくては。

24 か国語のパンフレット

この門 読み取りのQRコード



提出者 いとうひろし

3日目 9時～11時30分

全国市議会議長会研究フォーラム1

「議会活性化のための船中八策」 坪井ゆづる氏

- 1、 議会基本条例第6条を
- 2、 次世代の議論（20～30年）未来カルテを考える
- 3、 データーをしっかりと計る
- 4、 多様性社会（女性、若者をいかに増やすか）
- 5、 議会基本条例96条にて議会から発信していく
- 6、 労働法制を見直す
- 7、 情報公開（自分たちから出向く）
- 8、 議員間討議の場をつくる

★2日目は3名の報告者による実例報告等があり、各地の事案の成功例や問題点や課題等が報告され、前日の講義を含めた話が行われ、以上の8つが「船中八策」として掲げられました。

これから、他市の情報や課題、問題点を研究することはこれからの私のまちづくりに大いに役立てたいと思いました。

